

# 支え手帳モデル事業に関するアンケート調査結果の概要

## 1. アンケート調査の概要

### (1) 目的

第一次モデル事業では、平成30年度から令和元年度に大野中地区で実施し、令和2年度から4年度には、第二次モデル事業として、大野中地区とは、地域環境が大きく異なる相模湖及び藤野地区を加えて手帳を配布し、利用者および関係機関にアンケート調査を実施し、今後の連携ツールのあり方を検討していく。

### (2) アンケート対象者

利用者	一次モデル	大野中地区	168人
	二次モデル	大野中地区、相模湖地区、藤野地区	70人
関係機関	一次モデル	大野中地区	131事業所
	二次モデル	相模湖地区、藤野地区	74事業所

※利用者について、死亡者や市外転居者などは除く

※関係機関について、休止などしている事業所は除く

### (3) 調査方法及び期間

- ・郵送による配布及び回収
- ・令和4年11月7日（月）発送、令和4年12月19日（月）返送期限として回収。

## 2. 回収率

回収率	令和元年度	令和4年度		
		総数	一次	二次
支え手帳利用者	57.6% (147/255件)	60.5% (144/238件)	63.7% (107/168件)	52.9% (37/70件)
支え手帳関係機関	51.0% (78/153件)	51.7% (106/205件)	52.7% (69/131件)	50.0% (37/74件)

## 3. 基本属性

### (1) 利用者

#### ア. 性別

	令和元年度	令和4年度 一次	令和4年度 二次
男性	33.1%	37.4%	27.8%
女性	66.9%	62.6%	72.2%

イ. 年齢（上位3項目）

令和元年度	令和4年度 一次	令和4年度 二次
80～84歳 (28.8%)	85～89歳 (27.1%)	85～89歳 (36.1%)
85～89歳 (24.7%)	90歳以上 (25.2%)	80～84歳 (33.3%)
75～79歳 (17.1%)	80～84歳 (19.6%)	75～79歳 (13.9%)

ウ. 介護認定等の状況（上位3項目）

令和元年度	令和4年度 一次	令和4年度 二次
要支援2 (30.1%)	要介護2 (28.3%)	要支援2 (27.8%)
要支援1 (22.6%)	要支援2 (26.4%)	要支援1 (16.7%)
要介護2 (16.4%)	要介護4 (12.3%)	要介護2 (16.7%)

エ. アンケート回答者

	令和元年度	令和4年度 一次	令和4年度 二次
本人	48.9%	45.8%	37.1%
家族（同居）	39.0%	39.3%	37.1%
家族（別居）	8.5%	13.1%	11.4%

(2) 事業者（上位3項目）

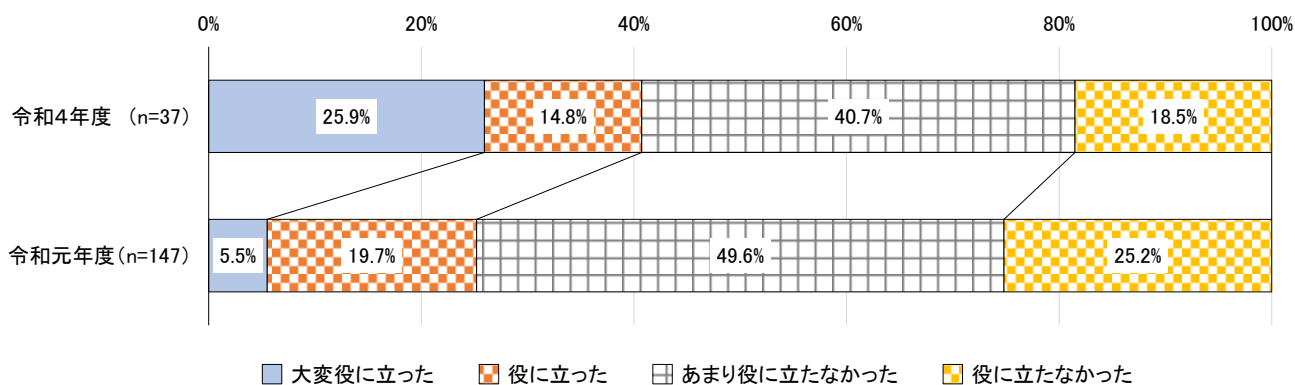
令和元年度	令和4年度 一次	令和4年度 二次
デイサービス・通所リハビリ (20.0%)	診療所（クリニック）(22.1%)	薬局 (16.2%)
診療所（クリニック） (17.3%)	デイサービス・通所リハビリ (16.2%)	ケアマネジャー (16.2%)
ケアマネジャー (14.7%)	薬局 (14.7%)	デイサービス・ 通所リハビリ (13.5%)

4. 各評価項目におけるアンケートの結果（概要）について

(1) 支え手帳利用状況の比較

ア. 利用者

(ア) 支え手帳の有用性



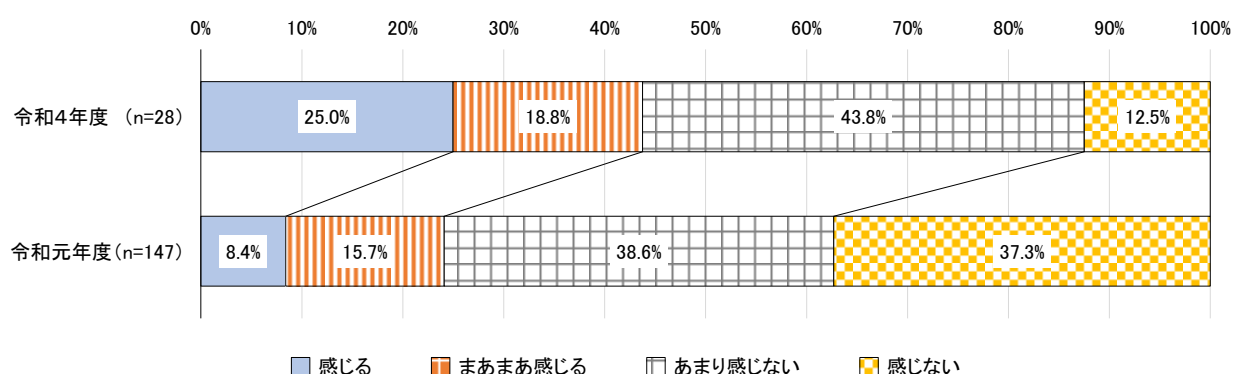
(イ) 活用の場（上位3項目）

	令和元年度	令和4年度
受診したとき	35.3%	55.0%
ケアマネジャーと相談するとき	47.1%	50.0%
介護サービスを利用したとき	21.2%	35.0%

(ウ) 使用したページ（上位3項目）

令和元年度	令和4年度
健康に生活できるようあなたを支えます (29.3%)	みんなの連絡帳 (46.7%)
みんなの連絡帳 (28.0%)	本人用健康チェック表 (26.7%)
本人用健康チェック表 (24.0%)	お薬について (26.7%)

(エ) サービス向上の実感



イ. 事業所

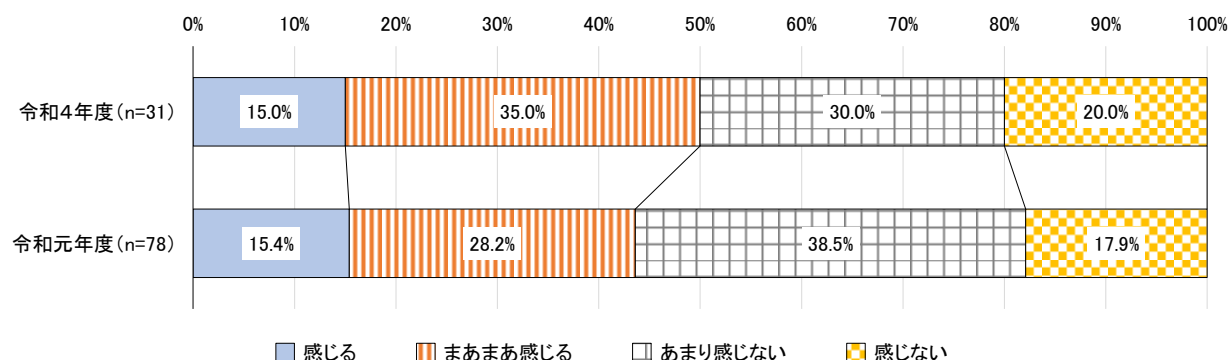
(ア) 利用した場面

令和元年度	令和4年度
ご本人や家族から提示されたとき (38.7%)	ご本人や家族から提示されたとき (30.0%)
ご本人とその家族と相談するとき (32.3%)	ご本人とその家族と相談するとき (25.0%)
他の支援者に知らせたいことがあるとき (32.3%)	受診の際 (25.0%)

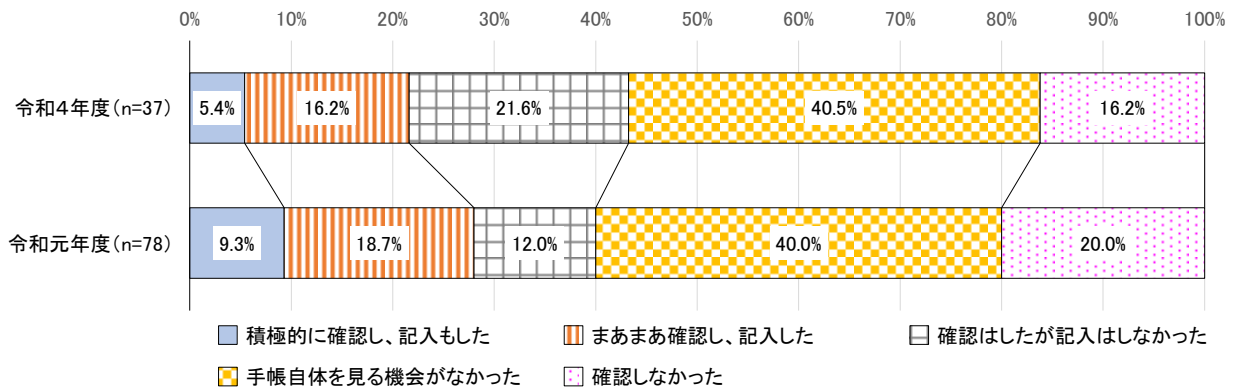
(イ) 利用したページ

令和元年度	令和4年度
みんなの連絡帳 (76.9%)	みんなの連絡帳 (64.3%)
お薬について (38.5%)	わたしのプロフィール (21.4%)
本人用健康チェック表 (23.1%)	健康に生活できるようにあなたを支えます (14.3%)

(ウ) 連携の一助となったか

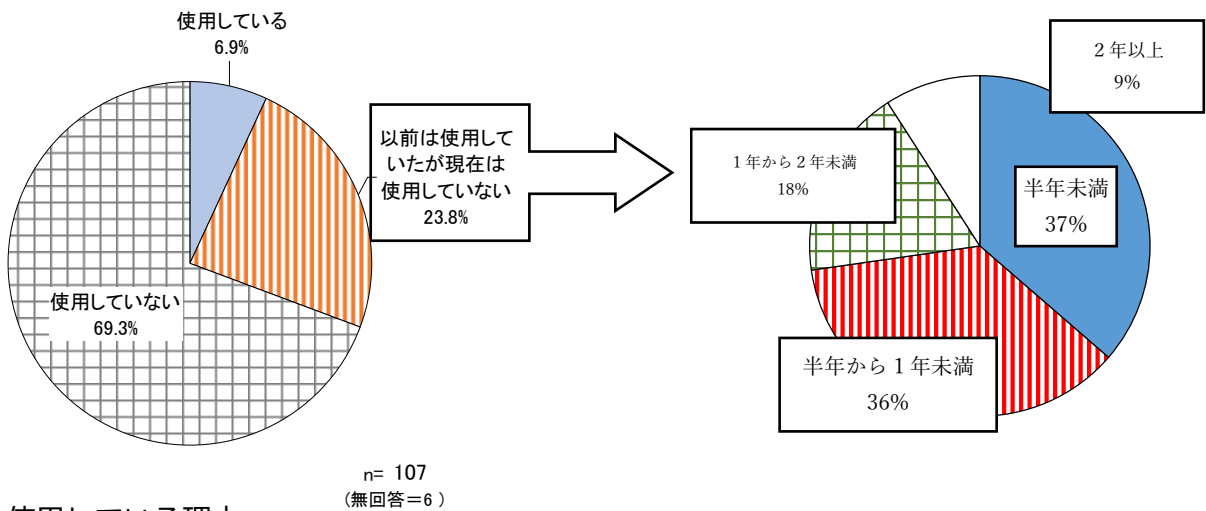


(工) 活用頻度



(2) 令和元年度支え手帳利用者の現在の利用状況

ア. 使用状況



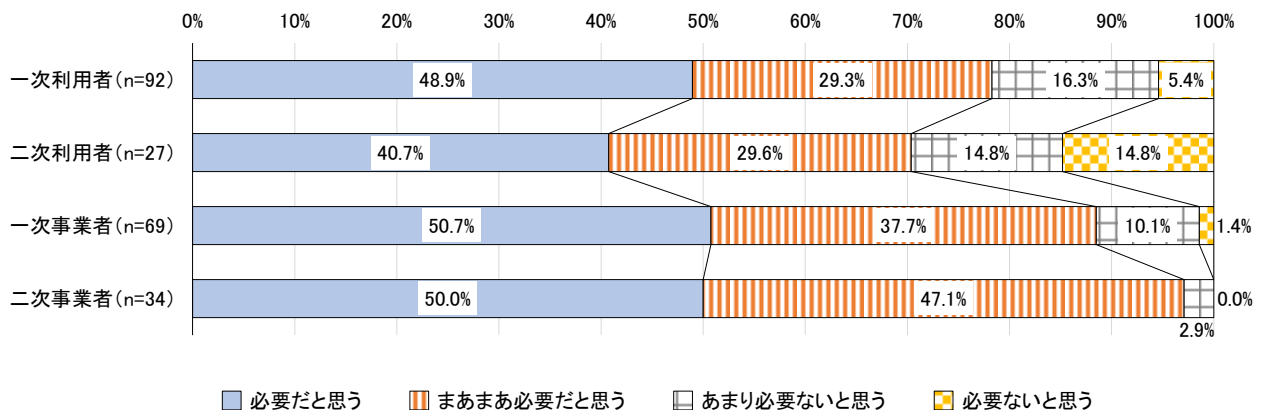
イ. 使用している理由

「自分のことを振り返ることができるから」、「家族・医師・複数の支援スタッフ等と情報を共有できるから」がともに 60.0%と最も多く、「必要な資料を追加できるから」(20.0%)

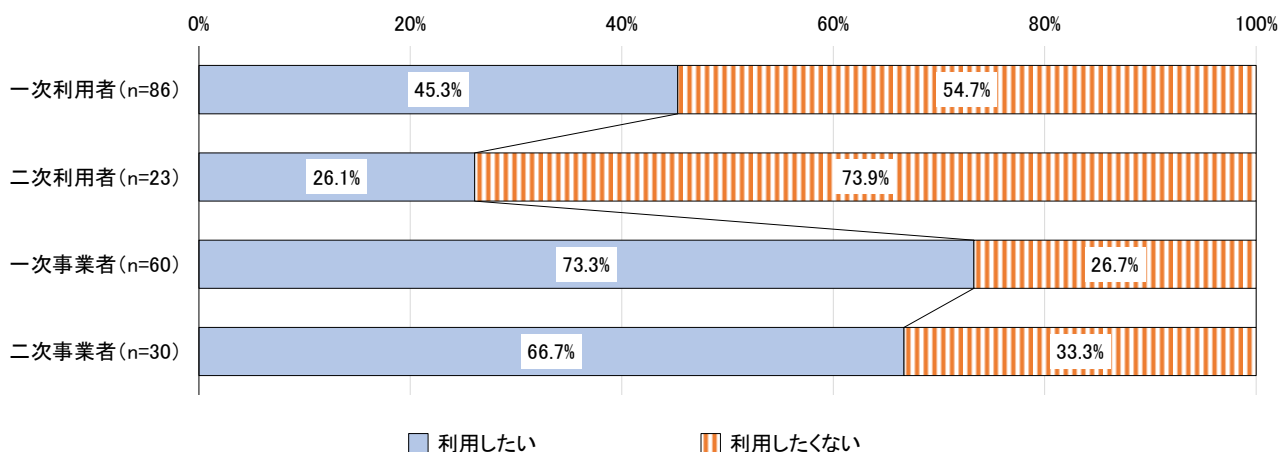
(3) 連携に関すること

ア. 全体比較 (利用者・事業所)

(ア) 支え手帳のように、情報を共有し、連携できるものは必要だと思いますか。



(イ) スマートフォン等を活用した医療・介護との連携



(ウ) 利用したい理由

利用者・事業者ともに「情報の伝達が迅速になる」、「一度に主治医や複数の支援スタッフ等と情報を共有できる」「家族などの支援者と情報を共有できる」の割合が高かった。

(エ) 利用したくない理由

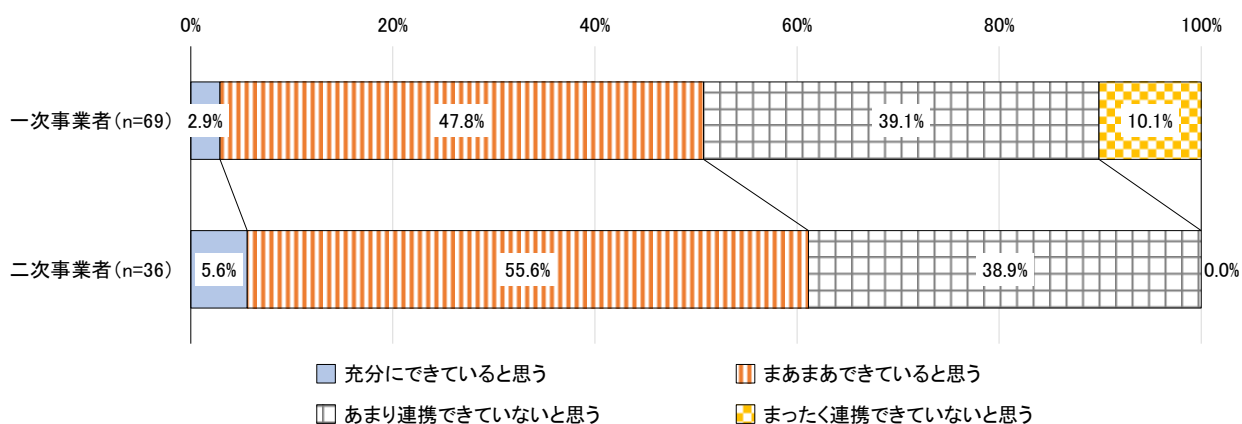
利用者「スマートフォンやパソコン等の操作が不安」、事業者「ウィルスなどによる情報漏洩が心配」が最も高かった。

イ. 事業者比較

(ア) 支え手帳に代わる連携システムの使用

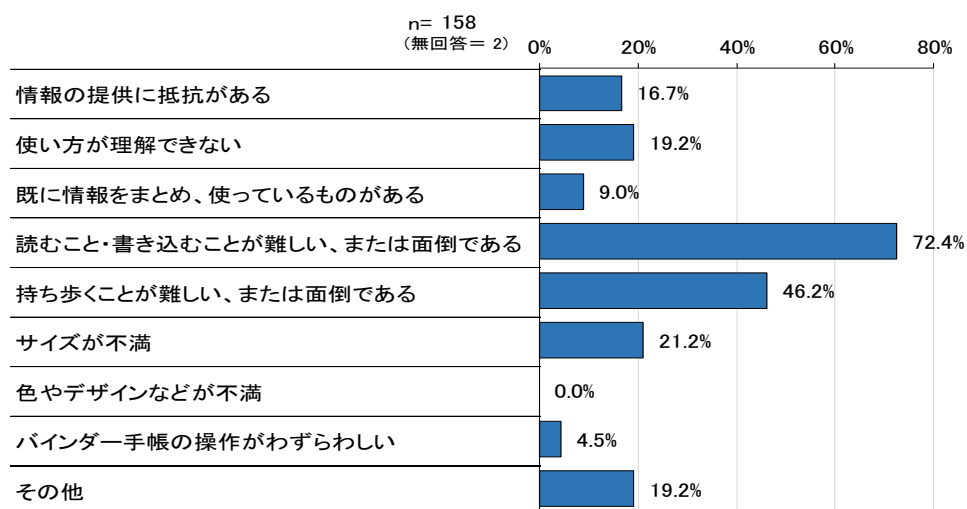
	ある	ない	主に使用しているツール
一次	8.2%	91.8%	冊子等の紙媒体
二次	20.0%	80.0%	パソコン等のICT

(イ) 現在の連携状況



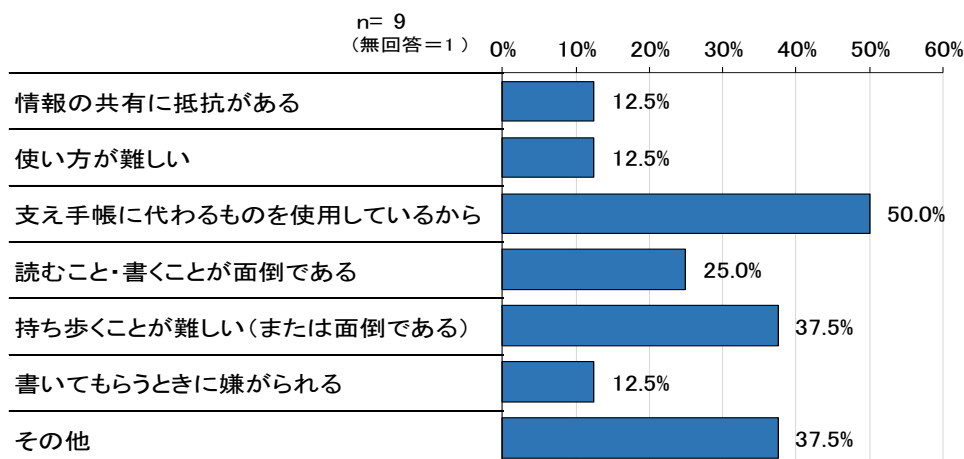
## 5. 支え手帳の利用拒否者

### (1) 配付に至らなかった主な理由 (回答数156件)

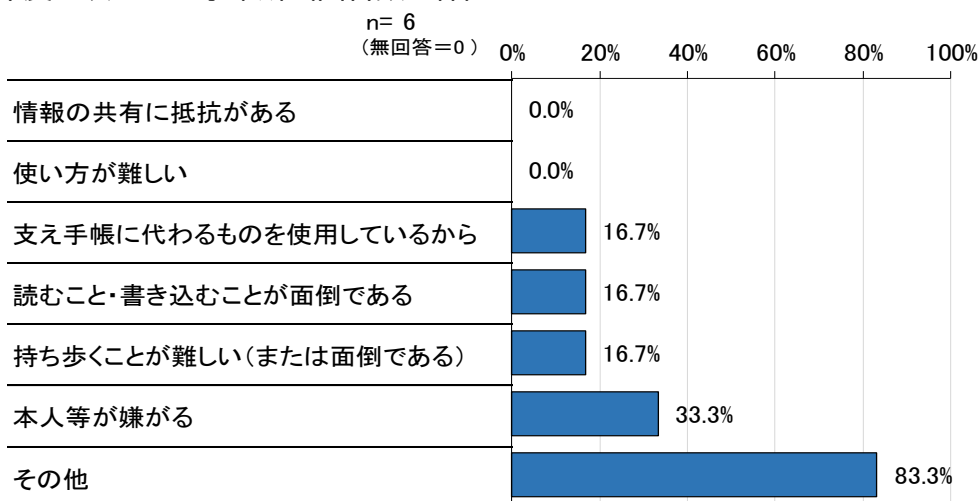


### (2) 支え手帳配布したが未利用の理由

#### ア. 令和4年度二次モデル利用者 (回答数8件)



#### イ. 令和4年度二次モデル事業所 (回答数6件)



## 6. 自由意見（抜粋）

### （1）支え手帳に関する意見や要望について（利用者）

- ・緊急時に役立ちました。
- ・本人に丁寧に説明して下さり、やる気もでて検査結果をまとめたり、これをみたらいいんだという安心感が生まれた。身のまわりの整頓の機会にもなり、誰もがみてわかるのがとても良いと感じた。
- ・支え手帳がなくてもお薬手帳で充分現在の体の状態や、医療機関の利用状況も充分わかるのでお薬手帳の充実化をして戴いた方が良い。
- ・将来的には必要だと思うが、現状ではあまり必要性を感じていない。
- ・母の介護をした時も、初めに色々記入したが、介護サービスを利用する時一度ケアマネジャーと相談する時に記入したりしたがその後はあまり開くことはなかった。

### （2）支え手帳に必要な情報や、ツールについて（事業所）

- ・ご本人の昔の職業や、やっていたスポーツなども分かると話すキッカケになる。
- ・みんなの連絡帳のページが沢山あればいい。
- ・スマートフォンで出来ると良い。
- ・現在のような手帳記入式は一方通行。タイムリーに情報交換が必要な場合は対応不可能ですね。
- ・受け入れる側（ショートステイ事業所）のため、まず本人さんが手帳を持ってこない。

### （3）支え手帳の形式や配布方法について（事業所）

- ・薬局として介護サービスの方の情報は、本人の体調を把握する上で役に立ちます。
- ・試みとしては良いと思います。一冊にまとまっていると、関係機関で共有しやすくなると思います。
- ・自分で自分の事を他者に正しく伝えられない方や記憶力が低下しだし、サポートを望まれる方に有用だと思いました。
- ・大きさの問題、人により必要な情報が異なる等、対応が求められる。
- ・本当に必要になる前の「準備期間・練習期間」があると、実際に使用する際のハードルが下がり、より有効的に活用できるかと思っています。

## 7. 今後について

引き続きアンケート調査の結果について分析を行い、報告書を作成する。また、作成したアンケート結果報告書により、医療・介護関係者のご意見を伺いながら、支え手帳の今後の対応について検討する。

## 8. その他

- ・『みんなの連絡帳』のページは、本人、家族や関係者が気付いたことを自由に記入して、情報の共有ができるものとなっている。
- ・『健康に生活できるようあなたを支えます』のページは、本人に関わる関係者等の連絡先が一覧で把握できるものとなっている。